

Case 1 隆起性病変を示した口腔細胞診症例

谷村 満知子（滋賀医科大学医学部附属病院 検査部）

【年齢】 80歳代

【性別】 男性

【採取部位】 右舌縁

【採取器具】 歯間ブラシ

【標本作製法】 LBC法（Cellprep）

【臨床所見】 右側舌縁に10mm大の境界明瞭な腫瘍を認めた
表面は粗造，周囲硬結および易出血性は認めない
痛等の症状や腫瘍の増大は認めない

【臨床診断】 右側舌癌の疑い

【疑問・問題点】 隆起性病変を診断するうえでの細胞像のポイントとは